



「もしも」のときに備え、地域でできることは!?



日限山小学校地域防災拠点運営委員会が10月16日に予定していた総合防災訓練はコロナ禍のため今年も中止となりましたが、日限山自治会ではこの日、メールを使った安否確認実験を行いました。

一方、日限山中学校地域防災拠点運営委員会(西洗自治会・港南プラザ自治会)は、11月13日(土)に防災訓練(写真左)を実施しました。いずれにしろ、日頃からのご近所同士つながりづくりが地域の備えとして大切なこととなります。

<12月の予定>

今月のあいさつデーは13日

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
オトナの学習ルーム 毎週日曜日 9:30～11:45 地域ケアプラザ	※「さわやか港南」は毎月4の日に日限地蔵で「日限茶屋」を開いています。 ※NPO「総ぐるみ福祉の会」では西洗バス停傍の「こぶし」で毎週火・水曜日の10:00～15:00「カフェこぶし」を開いています。			シニア健康教室 13:30 西洗・港南プラザ自治会館	子育てひろば 10:00 ケアプラザ ふらり～カフェ 12:00 ケアプラザ サロットひざり	
5	6	7	8	9	10	11
	ゆらり 13:30 日限山地域ケアプラザ	サロットひざり 10:00～17:00	ぐんぐんひろば 10:00 日限山地域ケアプラザ		子育てひろば 10:00 ケアプラザ サロットひざり 10:00～17:00	
12	13	14	15	16	17	18
びよびよスペース 第2・4日曜日 13:30～16:00 地域ケアプラザ	ほっとみるく 10:00 西洗・港南プラザ自治会館 3丁目の夕日 13:30 西洗・港南プラザ自治会館	サロットひざり 10:00～17:00	赤ちゃん教室 10:00 日限山地域ケアプラザ		子育てひろば 10:00 ケアプラザ サロットひざり 10:00～17:00	
19	20	21	22	23	24	25
あそVIVA! 15:00 日限山地域ケアプラザ	ぐんぐんひろば 10:00 日限山地域ケアプラザ	サロットひざり 10:00～17:00 にこにこひろば 10:00 日限山地域ケアプラザ	宿題ルーム 毎週月・水・木 15:00～16:30 地域ケアプラザ	3丁目の夕日 13:30 西洗・港南プラザ自治会館	子育てひろば 10:00 ケアプラザ サロットひざり 10:00～17:00	カフェ・ドリーム 13:30 ケアプラザ ☆1・2丁目在住の方優先
26	27	28	29	30	31	

公園で健康づくり、そしてつながりづくり！！

11月16日(火)日限山公園で、ひぎり地区シルバークラブ連合がグランドゴルフ大会を開催しました。コロナ禍のため1年半以上、地区シルバー連合としての催しを自粛してきましたが、状況が少し沈静化してきて、屋外で密を避けてできるグランドゴルフならば、ということで今回の開催となったものです。

当日は、「日限山青葉会」(1・2丁目)、「港南プラザ親和会」(3丁目)、「日限山いぶき会」(4丁目)の各シルバークラブから10名の選手が出場したので合わせて30名の参加(うち男性が18名、女性が12名)となり、4名の運営スタッフが点数の集計作業などに当たりました。親睦を深めるイベントとはいえ、そこは勝負がかかっているため、誰もが皆真剣な表情で、それでも楽し気に約1時間半を過ごしました。



同じ日の同じ時間に、日限山公園野球場の下にある日限山小公園(通称)では、毎月第3火曜日にはいつも日限山地域ケアプラザの室内で行われている育児サロン「にこにこひろば」が今月は「公園あそび～みんなで秋を見つけて遊ぼう!」と銘打って行われました。参加者は14組の親子で、ケアプラザ職員2名、地域のボランティア3名が親子のふれあいを見守りました。また、この日は最初に上永谷のK-Fitのインストラクターが親子でできる軽い運動を教えてくださいました。



K-Fitは地域貢献活動として地域の様々な催しに協力してくれているそうです。

期せずして、秋晴れの空の下で、乳幼児、若いママさん世代、そして高齢者が、笑顔いっぱい楽しいひと時を過ごしたことになります。日限山公園は、ひぎり地区で最も広い「近隣公園」で、八木公園や、子どもスポーツ公園、港南プラザ公園、西洗公園のような「街区公園」とは利用のあり方が少し違う性格をもつものです。ただ、公園が、人と人との出会いの場、つながりづくりの場であり、健康増進のための施設であることは間違いありません。これからだんだん寒くなりますが、公園で、健康づくり、顔見知りづくりをしてみませんか？

いきいきと幸せに暮らせるひぎりの街に ～第15回～



「わが街ひぎり・いきいき幸せプラン」はひぎり連合自治会の5つの部会(健康づくり、障がい児者、高齢者、子ども青少年、福祉保健活動の活性化)が活動を通して進めています。本当に大切なことは、住民一人ひとりが地域の課題を受け止め、できることをやることではないでしょうか。

西洗自治会が昨年立ち上げた「西洗福祉サポーターズ」(写真左は勉強会の模様)の取組はその一つとして注目すべきだと考えます。向こう三軒両隣による見守り・支え合い(近助)を、いざという時のために日頃からつくっていかうという仕組みづくりです。ひぎり地区では20年以上前から「助け合いネットワーク」という仕組みがあります。しかし、この先の見通しが見えないところもあり、今後を考えると、民児協(地区の民生委員の連合組織)や各单位自治会との連携を一層強くつくっていく必要があります。(写真右は地区社協・民児協の交流会の模様)

